

さくらぐみ だより

令和6年度 鎌倉保育園 11月号

8月号の園だよりでお知らせいたしました「とうきょうすくわくプログラム」は、乳幼児の豊かな心の育ちをサポートするため、主体的・共同的な探究活動を通じて保育の充実を図ることを目的とした事業です。鎌倉保育園で事業の実践を行うことにしましたが、さくら組では時期的なことや製作を通して、興味や関心はハロウィンに向いていたので、早速取り組んでみたことをおたよりにてお伝えいたします。



おおきー！

10月29日、部屋に入ると一つの段ボールが、、、隙間から中を覗こうとしたり、鼻を近づけて匂いをかいでみたり、、、(´艸`*)
開けてみると二つのカボチャが登場。持ってみたり、触ってみたり、ノックするように叩いてみたり、全身で抱え込んでみたりと様々な方法を考えて観察していました。そこからどうしていきたくと話し合いになり、「絵を描きたい」「おばけの顔に穴開けたい」などの案が出て、どのカボチャで行うかのチームで分かれた。どうしたいかも、チーム編成もみんなで見えを出し合っって子どもたちで決めて進めていましたよ！



さわりたい！

かたい！

たいこの音みたい！

まずは中身を出そうという話になり、給食先生に穴を開けてもらいました。そしてスプーンで取ったり、手を直接入れて取り出したり。中を見れないまま種などを取るので、「見て、8個も取れた」「何かドキドキする」とわくわく感いっぱいでした(´^`)

なんか
ヒモみた
いなのお
るよ！



どんどん出てくる種を集めて、「カボチャを育てよう」と声。夏の菜園でカボチャを栽培していたプランターに植えて育てています。芽も出てきていて、今後の成長が楽しみ(*´^`*)



見て！8個取れた！



カボチャのにおい？
なんか不思議なおい！

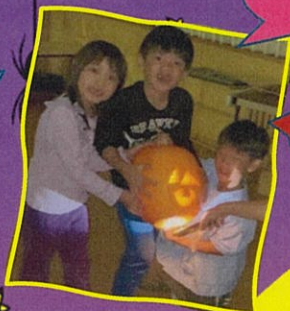
カボチャに顔を描き、その通りに給食先生にくり抜いてもらいました。一つひとつのパーツをそーっと引っこ抜き、おばけカボチャの顔が完成！目や口の穴から中をのぞいたり、型はめのように何回もパーツをはめ込んで抜いてみたりしてましたよ。顔が完成して、次はどうしていこうと考え中のおうです(#`^`#)

光った！

何色？

きれいだね

かーい…



10月29日には、くり抜いた顔を光らせたいと声上がり、何で光らせるかの話し合いが始まりました。「スマホのライト使ってみて！」「ちっちゃい電気入れてみて！」「光る生き物のやつ入れたら？」と案が沢山出ました。ちっちゃい電気から繋がった懐中電灯は中に入らなかったで、一つ目の案の夕方に室内の電気を暗くして、スマホのライトを当ててみました。暗闇の中で光るおどおどしさに「なんかこわーい」との声もありました。また三つ目の案の光る生き物。夏祭りの金魚すくいで使用した金魚たちをスイッチオン！顔の中に入れて覗いてみると、「カラフル！」「きれい！」とのまた違った声が上がりました。



10月30日はカボチャの装飾を行いました。左側のカボチャは「かぼちゃに色を塗りたい」と声上がり、どの色を塗るかを考えました。色鉛筆で選んだ2色を混ぜ合わせ、決まったらそれを絵の具で再現しました。決めた色は黄色とオレンジ。混ぜて最初の感想は「あれ？カボチャと同じ色になっちゃった！まいった！塗ろう！」でした。始めは中を塗っていたけれど、いつの間にか外側も。さらに綺麗なカボチャ色になりました。右側のカボチャは「お絵描きしたい」との声が上がりました。「かわいいカボチャにしようよ」「ハロウィンだからおぼけ描く」「あ、魔女も描こうかな！」「カラフルにしたい！」「じゃあ、こっちに塗って！」など、次々と湧いてくるアイデア。夢中になって描いていました。顔は描くけれど目の中も色を塗ったからくり抜かないと決めて、様々な色のポスカを使って塗っていましたよ。



HA-HA-HA!
HAPPY
HALOOWEEN!



10月31日ハロウィン当日は、パーティーを楽しんだ後、カボチャと一緒にハイチーズ！

パーティーの間は、テラスに飾ってカボチャも一緒に参加しましたよ(^^)

すくわく考察

元々日々の生活の中でも発想力豊かな児の多いクラスでもあり、始まりから自分たちで考え、自分たちで広げていき、自分たちで行動していた。こちらが言葉を全て拾えないくらい、次から次へと思いついたことを言葉にして行動していた。またハロウィンにちなんだカボチャの印象だけでなく、かぼちゃから取り出した種はまた育てたらかぼちゃになるのではないかとという発想になり、活動が長期に繋がったことは驚きだった。反省点としては、もっと時間を確保して行えるようにすれば、もっと夢中になることができたのではと感じた。

HALLOWEEN

